

製品安全データシート

会社名 ペガサス株式会社
 住所 東京都千代田区内神田3-5-5
 担当部門 建材事業部
 電話番号 03-5207-7733
 FAX番号 03-5207-7734

[製品名] ペガサピン

[物質の特定]

単一製品・混合物の区別 : 混合物

化学名	: 亜硝酸カルシウム水溶液			
成分及び含有量	: 亜硝酸カルシウム	: 硝酸カルシウム	: 水酸化カルシウム	: 界面活性剤
	: 22重量%	: 微量	: 微量	: 微量
化学式	: $\text{Ca}(\text{NO}_2)_2$: $\text{Ca}(\text{NO}_3)_2$: $\text{Ca}(\text{OH})_2$	
CAS No.	: 13780-06-8	: 10124-37-5	: 1305-62-0	
官報公示整理番号 (化審法番号)	: 1-187	: 1-188	: 1-181	
PRTR法	: 届出対象に該当しない			
安衛法通知物質	: 通知対象に該当しない。			
毒劇物	: 該当しない。			
航空・船舶危険物	: 該当しない。			

[危険・有害性の分類]

分類の名称	: 分類基準に該当しない。
危険性	: 不燃性物質。 酸性物質と接すると褐色のNO _x ガスを発生する。
有害性	: 皮膚や目、粘膜に炎症を起こす。 経口接種、吸入すると急性中毒を起こし、極めて危険。
環境影響	: 水棲生物に対し有害。

[応急処置]

飲み込んだ場合

指を喉に差し込むなどして嘔吐させ、直ちに医師の手当を受ける。

吸入した場合

安静にさせて新鮮な空気のある場所に移し、必要な場合は人工呼吸をし、直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に触れた場合

直ちに大量の流水にて洗浄する。汚染された衣服を脱がせ、再度洗い流す。

眼に入った場合

直ちに清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。

[火災時の処置]

消火方法 : 水溶液であり燃焼しない。
消火剤 : 未設定

[漏出時の処置]

砂や土、セメントで封じ込める。

少量のときは、多量の水で洗い流す。

酸類で中和してはならない。

大量に排水に流れ込むと下記基準に低触することになります。

【参考】水質汚濁に関する環境基準平成15年改正 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素10mg/ℓ

水質汚濁防止法の排水基準平成18年1月改正 アンモニア性窒素×0.4+亜硝酸性窒素+硝酸性窒素の合計量100mg/ℓ。

[取扱い及び保管上の注意]

取扱い:

- ①飲用は絶対にしないようにして下さい。
- ②多量に吸入すると、急性中毒を起こします。
- ③皮膚に付着するとかぶれる場合がありますので、取扱いの際は保護メガネ、ゴム手袋・皮膚に付着しにくい作業服を着用し、皮膚に付着しないようにして下さい。本薬品の付着した保護具・衣類を長時間着用しないで下さい。
- ④酸性物質と接触させると分解してNO_xガスを発生するので、絶対に接触させないようにして下さい。その他の混合を避ける物質としては、ヒドラジン及びその水和物、過酸化水素または過マンガン酸カリウム等の酸化性物質、アンモニウム塩があります。
- ⑤草木にかかると枯れる場合があります、また魚等にも影響することがあるので、特に漏洩時の対応や廃棄処分する場合は、[漏出時の処置]と[廃棄上の注意]を遵守して下さい。
- ⑥水溶液単体でのスプレー塗装は避けてください。

保管:

- ①材料が入っている容器は、衝撃により損傷させないで下さい。
 - ②40℃以上、0℃以下となる所には保管しないで下さい。0℃以下では結晶が析出します。
 - ③業務用です。子供の手の届かない所に保管して下さい。
-

[暴露防止措置]

管理濃度 : 未設定

許容濃度 : 未設定

設備対策 : 未設定

保護具 : 呼吸用保護具 ミストを確実に遮断できるものを着用する。

保護眼鏡 サイドシールドの付いた眼鏡、ゴーグル型の眼鏡を使用する。

保護手袋 ゴム手袋など水を通さないもの。袖口から本薬品が入らないようにすること。

保護衣 水を通さないもの。本薬品が付着しても、皮膚にまで触れないもの。

[物理／化学的性質]

外観	: 淡黄色微懸濁水溶液
比重	: 1.10～1.20
PH	: 11.0～12.0
におい	: なし
沸点	: データなし
融点	: データなし
分解点	: データなし
溶解点	: データなし

[危険性情報]

引火点	: なし
発火点	: なし
爆発限界	: なし
可燃性	: なし
発火性(自然発火性、水との反応性)	: なし
酸化性	: あり
自己反応性・爆発性	: なし
粉塵爆発性	: なし
安定性・反応性	: 酸性物質と接触するとNO _x ガスを発生して危険である為、絶対に混合してはならない。その他混合を避ける物質として、ヒドラジン及びその水和物、過酸化水素または過マンガン酸カリウム等の酸化性物質、アンモニウム塩がある。

その他

[有害性情報]

皮膚腐食性	: データなし。
刺激性(皮膚、眼)	: 人の皮膚、目、粘膜に対して刺激性がある。
感作性	: データなし。
急性毒性	: 経口摂取・吸入すると急性中毒を起し極めて危険。症状として嘔気、嘔吐、チアノーゼ、動悸、血圧下降が見られ、ヘモグロビンの70%以上がメトヘモグロビン化すると致命的中毒を起し、運動失調、著しい血圧下降、虚脱、昏睡、呼吸麻痺を起こす。
亜急性毒性	: データなし。
慢性毒性	: データなし。 亜硝酸ソーダについては、【食品添加物公定書解説書第7版】に、ラットに飲料水に溶かした100mg/kgの濃度の亜硝酸ソーダを毎日、全生涯ならびに3世代にわたって投与したが、各器官の著変は認めず、蓄積毒性も認められなかったと報告されている。
がん原性	: IARCなどの発がん性物質のリストにリストアップされていない。 尚、亜硝酸ソーダについては、昭和56年に終了した厚生省がん研究助成金による研究によれば、飲料水濃度0.125%、0.25%の亜硝酸ソーダをラットに2年間投与したが、投与群と対照群の間に腫瘍発生について有意差を認めていない。
変異原性(微生物、染色体異常)	: データなし。
生殖毒性	: データなし。
催奇形性	: データなし。
その他	

[環境影響情報]

分解性	: 自然界では、亜硝酸酸化細菌により酸化されて硝酸塩になる。
蓄積性	: データなし。
魚毒性	: 水棲生物に対して有害。
その他	: 水質汚濁に関する環境基準平成15年改正 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素10 mg/ℓ 水質汚濁防止法の排水基準平成18年1月改正 アンモニア性窒素×0.4+亜硝酸性窒素+硝酸性窒素の合計量100mg/ℓ。

[廃棄上の注意]

廃棄する場合は、亜硝酸カルシウムと硝酸カルシウムを含有することを伝えた上で、都道府県知事の承認を受けた処理業者に処理を依頼する。

[輸送上の注意]

取扱い及び保管上の注意の項の記載による。

[適用法令]

法規制されない。

[その他]

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常的な取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。含有量、物理化学的性質等の値は保証値ではありません。又、注意事項は、通常的な取扱いを対象としたものですから、特殊な取扱いの場合には御配慮を御願いたします。